

昨年度の成果と課題

取り組みにおける成果と課題

- ・ 関心・意欲の持続等については、「早寝・早起き・朝ごはん」月間等の校内の食育指導により、自分の食生活や栄養バランスについて関心をもち、意欲的に1食分の献立を考えたり、朝食づくりの実習に取り組んだりできた。また、調理や裁縫など、学習したことを家庭で実践する児童が増えてきている。
- ・ 創意工夫・技能の向上については、展覧会に向けた製作活動やグループ活動を通して、学習した技能を活かして生活をよりよくするための工夫ができる児童が増えてきている。
- ・ 基礎技能の定着については、家庭で多く実践している児童ほど、基礎技能の定着が見られるため、家庭に協力してもらったり、ワークシート等での言葉かけを工夫したりし、より確実な技能の定着を図っていきたい。

平成28年度の実態の分析

結果の分析

- 「関心・意欲・態度」については、5・6年とも「調理」と「さいほう」に関する取り組みへの意欲は高い。他の題材についても、より関心・意欲を高めていきたい。
- 「創意・工夫」については、児童により差がある見られるため、基礎・基本を身につけた上で、資料を見ながら考えたり、友達と考えを共有したりできる場を設定する必要がある。
- 「技能」については、学習した時点ではほぼ習得できていた。しかし、時間の経過により忘れてしまう面があるため、繰り返し学習をするなど、確実な技能の定着が必要である。また、技能の習得が困難な児童の姿も見られるため、個別に対応する。
- 「知識・理解」については、家庭生活についての知識・理解はおおむねできている。今後は、児童が家庭生活上で、学習した知識を活用できるように課題や指導を工夫して取り組んでいく。

調査結果に基づいた授業改善のポイント及び改善策

- 関心・意欲を向上、持続させ、個に応じて自分の生活の中で実践しようとする態度を育てる。
 - ・ 児童の実態に応じて教材を工夫、また、題材の内容の構成を見直し、学習内容と生活場面の関連づけをしたり、活動における視点を明確にしたりし、児童の学習意欲・関心を持続し、さらに伸ばしていく。
 - ・ 毎時間ごとの学習のめあてを意識させたり、児童の発言や活動の様子を評価し見取ったことを伝えたりし、学習に対する関心・意欲を高める。
- 創意工夫・技能の向上を図る。
 - ・ 資料や教材をもとに考えたり、自分の考えを交流したりする場を多く設定し、学習課題に対する工夫や技能を高めることができるよう指導する。
 - ・ 言語活動を充実させるために、家庭で調べてきたことを自分の言葉で説明したり、調理実習後にふり返り、反省や次回に活かせることを発表したりするような機会をもつ。
- 基礎技能の定着を図る。
 - ・ 作業の方法や手順が理解しやすいように、拡大見本や製作見本などの学習資料を工夫し、提示する。
 - ・ ワークシートや製作作品の過程をこまめに点検し、励ましのコメント書くとともに、定着程度の確認を行う。
 - ・ ミシン実習では、保護者にボランティアを募り、小グループおよび個別指導の充実を図る。